

ヤロミール・クベルカ

Jaromir KVERKA

所属：雪印

ポジション：DF

生年月日：1971年11月11日

出生地：チェコスロバキア（現チェコ）

【プロフィール】1989-1990シーズンからチェコスロバキアのトップリーグである連邦リーグ（チェコではエクストラリーグ）のスパルタ・プラハでプレーし、2回のリーグ優勝を経験している。雪印入りする直前の1シーズンはドゥクラ・ジフラバでプレーするとともに、世界選手権メンバーではないがチェコ代表にも選ばれた。ジュニア時代では、チェコスロバキアジュニア代表（U20）として、1990-1991シーズンには世界ジュニアU20選手権にも出場。4試合2ゴール5アシスト7ポイントをマークし銅メダル獲得に貢献した。雪印退団後は、古巣のスパルタ・プラハやカルロビー・バリーを始め、ドイツ、イギリス、スウェーデンでプレーした。現役引退後はカルロビー・バリーやジュニアチームなどでコーチを務めた。

【レビュー】スパルタ・プラハでキャプテンを務めるなど、クベルカはリーダーシップもあり、人間的にも優れた選手でした。DFでもゲームメイクができ、自分を殺しても、周りを生かし、状況判断に優れた、空いている選手にきっちりつないでくれました。受け手にスペースがあるタイミングで、パスを出してくれたので、パスを受けたプレイヤーは生きましたしやりやすかったです。日本人と身長も大差がなかったですが、体の使い方やパスを出すタイミングなど上手い選手でした。

日本のことが大好きで、納豆も食べていましたし（笑）、もっと日本でプレーしたかった感じでしたね。

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ									プレーオフ				
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)	
1996-1997	第31回	雪印	4位	6	6回戦制	4位	29	10	16	26	8 / 37	セミファイナル敗退	3	3	3	6	1 / 2
						計	29	10	16	26	8 / 37	計	3	3	3	6	1 / 2

G：得点／A：アシスト／P：ポイント

第1版：2026年3月15日・記

パベル・ゲフェルト

Pavel GEFFERT

所属：雪印

ポジション：FW

生年月日：1968年5月7日

出生地：チェコスロバキア（現チェコ）

【プロフィール】1987-1988シーズン、チェコスロバキアのトップリーグである連邦リーグのスパルタ・プラハからデビュー。チェコのエクストラリーグとなっても雪印入りする前シーンまで同チームでプレーを続け、2回の優勝に導いた。その間、チェコ代表にも選出され、1994年のリレハンメルオリンピックや1995世界選手権に出場した。リレハンメルオリンピックでは5試合3ゴール2アシスト5ポイント、世界選手権では8試合1ゴール1アシスト2ポイントをマークした。1996年2月、ケガのためにシーズン途中で雪印退団後は、スパルタ・プラハ、ブルゼン、スラビア・プラハ、クラドノなどでプレーした。現役引退後はスパルタ・プラハのジュニアチームのコーチを務めた。

【レビュー】スキルは高く、（ゴールを）決める力もありました。身長が高くリーチもあったので、日本のDFにしてみたら止めにくい選手だったと思います。ゲフェルトと同僚の（ウラジミール・）ペトロフカとが組んでいる時のお互いのパス交換などはすごかったです。二人のロングパスでノーマークを取るなど、彼が飛び出してパスをもらって一人で得点する選手でした。チェコでのアイスホッケーをやろうとしていて、周りの選手たちはついて行けませんでした。「なぜ？」と思いながらプレーしていたと思われ、歯がゆかったのではないのでしょうか。しかし、チームをどうやったら勝たせることができるかを考えたプレーはあまりなかったです。

大人しい選手でしたが、ストレスが溜まっていたと思います。シーズン途中ででしたが、2月上旬にケガのため帰国し、戻っては来ませんでした。

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ								プレーオフ							
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)			
1995-1996	第30回	雪印	6位	6	前後期各4回総当たり	6位※	28	21	12	33	6 /	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- /	-	
						計	28	21	12	33	6 /	0	計	-	-	-	-	- /	-

※第29、30、38回は前後期制のため、前後期合計による順位

G：得点／A：アシスト／P：ポイント

第30回日本リーグ・レギュラーリーグの反則（分）は未掲載（調査中）

アラン・コーテ

Alain COTE

所属：雪印

ポジション：DF

生年月日：1967年4月14日

出生地：カナダ

【プロフィール】1985NHLエントリードラフトでボストン・ブルーインズから2巡目（全体で31位）指名を受ける。ルーキーシーズンにNHLデビューを飾り、その後、1993-1994シーズンまでに、ボストン、ワシントン・キャピタルズ、モントリオール・カナディアンズ、タンパベイ・ライトニング、ケベック・ノルディックスの5チームでプレー。NHL通算119試合2ゴール18アシスト、20ポイントをマークした。NHL以外では、雪印入り前には、AHLやIHL、スロベニアなどでプレー。雪印退団後は、フィンランドのトップリーグであるSMリーグのタッパラやドイツなどでプレーした。代表チーム歴は、1985-1986シーズンにカナダジュニア代表（U20）として世界ジュニアU20選手権に出場。7試合1ゴール4アシスト5ポイントをマークし、銀メダルを獲得した。

【レビュー】NHLプレーヤーとして鳴り物入りで加入しました。まず、体付き方が違いました。ウエートトレーニングでも、ベンチプレスのを斜めにして低い姿勢からバーベルを上げるなど、こんなトレーニングをするのだとメニューに驚きましたし、重さも違いました。日本でプレーした後も現役バリバリでプレーする気でしたから、やる気満々で普段のトレーニングをしていたので、タイプが似ていた甲斐淳一にとっては良い手本になったと思います。

NHLではファイト系の選手で、スキルはそんなに高くはなかったですが、荒々しさはありました。彼は普通に抑えたつもりでも、スティックが折れるなどしてスラッシングを取られたりしました。NHLでは当たり前前のプレーでも日本ではNGになってしまい、難しい面もあったと思います。日本リーグ開幕前の定期戦での出来事です。乱闘になってコーテがワンパンチを出したら、相手の歯が飛んでノックダウン。「すごい。これがNHLなのだ」と思いました。相手は怖かったと思います。ただ、周りを生かすプレーやスキルはなかったもので、チームを変えるほどのプレーはしてもらえませんでした。

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ								プレーオフ					
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)	
1997-1998	第32回	雪印	2位	6	8回総当たり	3位	37	15	19	34	34 / 115	ファイナル敗退	4	1	0	1	6 / 12
1998-1999	第33回	雪印	5位	6	8回総当たり	5位	38	5	20	25	32 / 114	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
						計	75	20	39	59	66 / 229	計	4	1	0	1	6 / 12

G：得点/A：アシスト/P：ポイント

第1版：2026年3月15日・記

パベル・シェルク

Pavel SREK

所属：雪印

ポジション：DF

生年月日：1967年12月17日

出生地：チェコスロバキア（現チェコ）

【プロフィール】1990-1991シーズンからチェコスロバキアのトップリーグの連邦リーグ（チェコではエクストラリーグ）のスパルタ・プラハでプレー。雪印入りする前シーズン（1995-1996）にはチームを3位に導く。雪印退団後は、スパルタ・プラハやプレゼンなどでプレーし、2001-2002シーズンにはスパルタ・プラハでエクストラリーグのチャンピオンに輝いた。現役引退後は、スパルタ・プラハのチェアマンやチームマネージャー、選手育成ディレクターなどを務めた。

【レビュー】正直なところ、シェルクに関しては、余り多くのことは覚えていないのですが……。

サイズの大きく、不器用なタイプでした。敵を引き付けてタイミングを計ってパスを出すのではなく、ガッチ、ガッチ、ポンといった感じでパスを出していました。チェコ人選手としたら、印象に残るタイプではありませんでした（笑）。敵にしたらサイズの大きい選手が来たら嫌だったと思いますが、堅い感じで、怖さはあまり感じなかったですね。

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ								プレーオフ					
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)	
1996-1997	第31回	雪印	4位	6	6回総当たり	4位	28	8	16	24	8 / 41	セミファイナル敗退	3	0	2	2	1 / 2
						計	28	8	16	24	8 / 41	計	3	0	2	2	1 / 2

G：得点/A：アシスト/P：ポイント

ステファン・フィガルーチ

Stefan FIGLIVZZI

所属：雪印

ポジション：FW

生年月日：1968年7月23日

出生地：カナダ

【プロフィール】1989-1990シーズンから雪印入りの前シーズン（1997-1998シーズン）まではイタリアリーグのブルーニコ、パレーゼなどでプレーした。1996-1997シーズンはドイツ、1997-1998シーズンはドイツ、スイス（NLA）などでもプレーした。その間、イタリア代表にも選ばれ、オリンピックは1994年のリレハンメルと1998年の長野の2大会に出場。世界選手権は1992年、1994年から1996年までの計4回大会に出場している。オリンピックでは11試合6ゴール4アシスト10ポイント、世界選手権では23試合9ゴール5アシスト14ポイントをマークしている。雪印退団後は、イタリアリーグのメラノやスウェーデンなどでプレーした。

【レビュー】ハードワークをする上に、スキルが高く、自分で入れることも、周りをすることもできました。リーダーシップもあり人格者でした。フィガルーチはそれまでで最高の選手でした。

素晴らしいスケートティングではないのですが、相手が予期しない方向へ一瞬にして動き抜いて行きました。シュートもパスも速くて正確でした。ゴール前の混戦の中、ピンポイントで通す速く正確なパスはすごかったです。

雪印のラストシーズンにプレーオフ・ファイナルまで行けたのは彼のおかげです。日本人はもちろん外国人・日系人も彼のことを悪く言う人はおらず、誰もが彼にはついていきました。彼の発案でチーム全員が金髪に染めました。最後のシーズンと分かっても腐らず、「やろうぜ！」の感覚でした。もう数年、日本にいて良いものを残してもらいたかったですね。

【日本リーグアワード】ベスト6：第35回／得点王：第35回／ポイント王：第35回

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ									プレーオフ					
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)		
1998-1999	第33回	雪印	5位	6	8回総当たり	5位	40	27	20	47	13 / 26	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -	
1999-2000	第34回	雪印	5位	6	6回総当たり	5位	27	15	18	33	17 / 55	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -	
2000-2001	第35回	雪印	2位	6	8回総当たり	3位	39	30	33	63	/	ファイナル敗退	8	4	4	8	7 / 22	
						計	106	72	71	143	30 / 81		計	8	4	4	8	7 / 22

G：得点／A：アシスト／P：ポイント

第35回日本リーグ・レギュラーリーグの反則（回数/分）は未掲載（調査中）

スコット・フカミ

Scott FUKAMI

所属：雪印

ポジション：FW

生年月日：1972年8月29日

出生地：カナダ

【プロフィール】 日系人プレーヤー。1988-1989シーズンから1992-1993シーズンまではWHLのレスブリッジ・ハリケーンズやビクトリア・クーガーズなどでプレー。雪印入りの前シーズン（1993-1994）はスウェーデンでプレーした。雪印退団後は、スウェーデンやアメリカのチーム、さらにカルガリー大学でもプレーした。現役引退後はカナダのジュニアチームの監督やコーチ、WHLのチームのスカウトなどを務めた。

【レビュー】 個のスキルは超一流で、シュートも入るし、当初は大戦力になると思いました。しかし、いざ5人のセットでのプレーとなると、フカミはアイスホッケーIQがそれほど高くなかった。パス交換をはじめ誰とも合わず、周りがストレスを溜める事態になってしまいました。自分のやりたいプレーをしてしまう独りよがりのタイプで、一緒にプレーをすると組み辛く、チームに馴染めなかったですね。もしかしたら、3on3などプレーするメンバーが少なく、スペースがある状況なら活躍するタイプだったかもしれません。

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ								プレーオフ					
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)	
1994-1995	第29回	雪印	5位	6	前後期各3回総当たり	5位※	25	7	4	11	12 / 24	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
1995-1996	第30回	雪印	6位	6	前後期各4回総当たり	6位※	9	1	4	5	4 /	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
						計	34	8	8	16	16 / 24		-	-	-	-	- / -

※第29、30、38回は前後期制のため、前後期合計による順位

G：得点／A：アシスト／P：ポイント

第30回日本リーグ・レギュラーリーグの反則（分）は未掲載（調査中）

マーチン・ベージュラン

Martin BERGERON

所属：雪印

ポジション：FW

生年月日：1968年1月20日

出生地：カナダ

【プロフィール】 QMJHLでプレーをしていた1988NHLエントリードラフトでニューヨーク・レンジャーズから5巡目（全体で99位）指名を受ける。NHLでのプレー経験はないものの、IHL、ECHL、AHLでプレーした後、1992-1993シーズンからはプレーの場をヨーロッパに求め、ドイツやオーストリアなどでプレーした後、雪印入りした。雪印退団後は、フィンランドのリーグ（トップリーグのSIMリーグを含む）やスイスリーグ（NLA、NLBなど）でプレーした。

【レビュー】 天才的なタイプで、点を取ることに注力し、独りよがりの選手でした。点取り屋で数字は残しましたから、ベージュランのおかげでアシストは稼がせてもらいました。しかし、成績のわりに周りからはあまり慕われず、チームへのプラス効果も高くありませんでした。

とにかくシュートは上手かったです。ツポに入ったらほぼ決めていました。ゴールすることに関しては超一流でした。パスを受け自分のポジションからシュートを放つ際、どこを狙えばゴールになるといったイメージがすでにできていました。後ろに目が付いているかの状態で、他の選手より2コマぐらい節約してシュートを放っていましたから、相手GKにとっては、対応しきれなかったと思います。点を取ることは一生懸命でしたが、バックチェックはほとんどやらず、守りもしません。チームにしてみれば、毎試合ハットトリックしてくれれば良いですが、1試合1ゴール、0.5アシストぐらいでは、チーム貢献度は低くならざるを得ませんでした。

【日本リーグアワード】 ベスト6：第32回／得点王：第32回

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ									プレーオフ					
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)		
1997-1998	第32回	雪印	2位	6	8回総当たり	3位	40	40	23	63	14 / 28	ファイナル敗退	4	3	2	5	2 / 4	
						計	40	40	23	63	14 / 28		計	4	3	2	5	2 / 4

G：得点／A：アシスト／P：ポイント

ウラジミール・ペトロフカ

Vladimir PETROVKA

所属：雪印

ポジション：FW

生年月日：1965年10月9日

出生地：チェコスロバキア（現チェコ）

【プロフィール】1986-1987シーズンからチェコスロバキアのトップリーグの連邦リーグ（チェコではエクストラリーグ）のスパルタ・プラハでプレー。一時期、ドイツリーグでもプレーしたが、その後スパルタ・プラハに復帰し、1994-1995シーズンまでプレーした。その間、オリンピックや世界選手権への出場はなかったもののチェコ代表（チェコスロバキア代表を含む）にも選出された。雪印をシーズン途中で退団した後は、エクストラリーグの古巣のスパルタ・プラハやオロモウツなどでプレーした。現役引退後はチェコの下部リーグのチームやジュニアチームの監督やコーチなどを務めた。

【レビュー】旧ソ連タイプで、チャカチャカと動くスキルタイプの選手でした。ゲームメイクする選手で、縦パス一本など、攻撃の起点となっていました。スキルは高かったですが、王子製紙にいたシャドリンやリャプキンのように敵を振り回すほどのスキルはなかったですね。自分が思っているところに日本人選手がいなくて、パスが繋がらないなど、ペトロフカがやりたいプレーができないストレスがあったと思います。

チームから彼への要望は高いものがあります。プレーが上手くできず結果が出ず、スタッフとももめていました。気性の荒い選手で、1カ月ぐらいずっと怒っていて、いつか切れるのではないかと予感していました。完全にぶち切れてしまって、シーズン途中で帰国しました。ただ、帰国するまではないと思っていたので、その時は選手もびっくりしていました。

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ								プレーオフ					
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)	
1995-1996	第30回	雪印	6位	6	前後期各4回総当たり	6位※	26	14	15	29	15 /	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
						計	26	14	15	29	15 / 0	計	-	-	-	-	- / -

※第29、30、38回は前後期制のため、前後期合計による順位

G：得点／A：アシスト／P：ポイント

第30回日本リーグ・レギュラーリーグの反則（分）は未掲載（調査中）

ジェイミー・ラム

Jamie RAM

所属：雪印

ポジション：GK

生年月日：1971年1月18日

出生地：カナダ

【プロフィール】1990-1991シーズンから4年間、NCAAのミシガン工科大学でトップクラスのGKとしてプレーし、1991NHLエントリードラフトでニューヨーク・レンジャーズから10巡目（全体で213位）指名を受ける。卒業後の1994-1995シーズンからAHLやIHLなどでプレーした。NHLでは1995-1996シーズンに1試合（滞氷時間26分58秒、失点0）出場した。1999-2000シーズンは世界選手権には出場していないが、カナダ代表でプレーし、翌シーズンに雪印入りした。雪印退団後は、フィンランドのトップリーグであるSIMリーガのヨケリットやスウェーデンのSEL、ロシアのアムール・ハバロフスクなどでプレーした。

【レビュー】実はラムが第一候補のGKではなく、別のGKに触手を伸ばしていました。その選手がダメになり、カナダ代表にいたラムが有力候補になり、合宿先に行き決めました。余談ですが、彼は、突然電話がかかって来てチームから首を切られるといった挫折も味わっていました。

一番びっくりしたのは、GKは練習の際シュート受けますが、彼の場合、バックがゴール前に散らばらず、コーナーにしか行かないのです。常にコントロールをしていました。また練習ではプレーヤーと一緒にスケータリングもしましたし、GKスティックでシュートも放っていました。彼は守りはもちろんですが、5人对5人の中でも自分もプレーヤーとしてプレーをしようとしていました。日本人とは考え方が違うのだと思いました。

さらに試合中、流れて来たバックをGKが前に出て処理することは、当時の日本ではあまり見られませんでした。でも彼は積極的に前へ出て処理していました。相手のアドバンテージ中でも自陣内で処理をして、プレーを止めてくれたので、助かりました。また彼から頻繁にパスも出してくれました。

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーシーズン										プレーオフ							
				チーム数	対戦方式	順位	試合	滞氷時間	失点	完封	GAA	A	反則(回数/分)	試合	滞氷時間	失点	完封	GAA	A	反則(回数/分)	
2000-2001	第35回	雪印	2位	6	8回総当たり	3位	39	2379:13	108	1	2.72	0	/	ファイナル敗退	8	453:28	24	0	3.18	1	0 / 0
				計			39	2379:13	108	1	2.72	0	0 / 0	計	8	453:28	24	0	3.18	1	0 / 0

G：得点/A：アシスト/P：ポイント

第35回日本リーグ・レギュラーリーグの反則（回数/分）は未掲載（調査中）

第1版：2026年3月15日・記